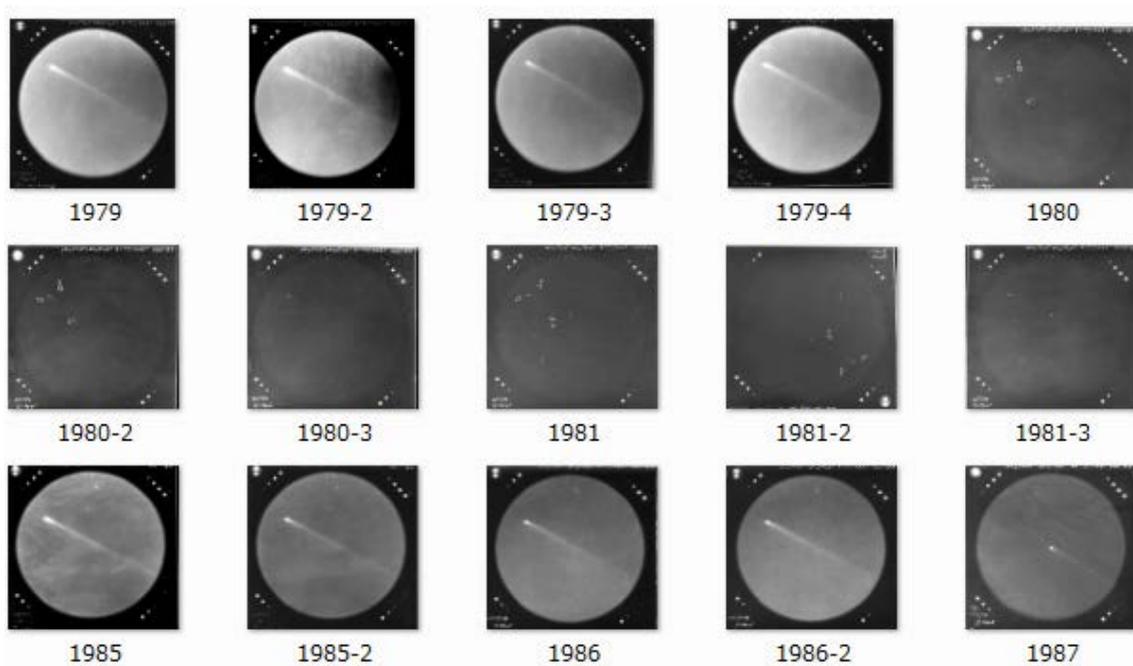
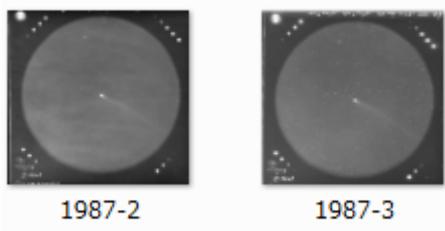


国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***堂平観測所のコホーテク彗星(その4)のシートフィルム収蔵**

国立天文台天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台の旧図書館(昭和5年(1930年)建設)の1階に保管されている古い天体写真乾板等の整理を進めている。この作業の一環の中から昭和20年2月の本館焼失で失われたと思われていた100年以上前に撮影された写真乾板が発見され、日本人最初の小惑星発見の写真乾板が出てくるという大きな発見もあった。天体写真乾板の整理は佐々木君、大島君が進めており、筆者はこの物置状態の棚から確たる資料とも思えない雑物の整理を引き受けている。今回は堂平観測所50cmシュミット望遠鏡によるコホーテク彗星(1973f)を撮影した乾板の像をシートフィルムにポジとして複製したもの17枚をデジタルデータとして収蔵した。これらは堂平観測所の50cmシュミット望遠鏡で撮影された乾板をシートフィルムに密着で露出したものである。同じ乾板を何枚も複製を作っているものもある。コホーテク彗星のシートフィルムについては、すでにアーカイブ室新聞の3回にわたって書かれており、第470号 堂平観測所50cmシュミット望遠鏡によるKohohtek彗星の乾板のレプリカを収蔵(2011年4月15日)、第471号 Kohohtek彗星(その2)の乾板のレプリカを収蔵(2011年4月19日)、第474号 堂平観測所のKohohtek彗星(その3)の乾板のレプリカを収蔵(2011年4月21日)である。これまでのものは比較的保存状態がよかったが、今回のものは、非常に乱暴な状態であった。そのサムネイルが写真1である。





これらの番号は堂平観測所の50cmシュミット望遠鏡で撮られた写真につけられた一連のSB番号である。これらのオリジナルのシュミット乾板の整理は大島君がやっており、そのうちデジタルデータとして公表できる段階になる。それを見れば撮影年月日、エマルジョン、撮影時刻、露出時間、フィルターなど詳しいデータが載せられるはずである。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp